

2020年1月10日

各位

会社名 日本フォームサービス株式会社
代表者の役職名 取締役社長 齋藤 太 誉
(JASDAQコード番号 7869)
問い合わせ先 取締役 土肥 健一
TEL 03-3636-0011

上場廃止に係る猶予期間入り（流通株式時価総額基準）に関するお知らせ

2019年9月30日時点の当社株式の流通株式時価総額が有価証券上場規程第604条の2第1項第3号（関連規則は同第601条第1項第2号b本文）に定める所要額（2.5億円）未滿となり、当社株式が上場廃止に係る猶予期間入りしたことが、株式会社東京証券取引所より発表されましたので以下の通り、お知らせいたします。

記

1. 猶予期間

2019年10月1日から2020年9月30日まで

2. 今後の見通しについて

現在、当社では昨今発生致しました不正会計による問題に対し、真摯に受け止め、内部統制及びコンプライアンスに対する意識を高め、全社的に改善を図っております。

そうした状況下で、当社グループにおける函物及び機械設備関連事業におきましては、旧体制を抜本的に見直し、第一営業GP、第二営業GP内に専属営業・専属設計・専属開発担当者を配置したグループ単位の組織に再編成致しました。新体制による事業運営を図りお客様への対応を迅速に対応し、売上に直結する製品開発及び生産・品質管理体制の強化を推進します。

新製品開発については、製造事業部一丸となって、お客様の声や市場の動向を基に計画的に実施し、より多くのお客様へFORVICE製品をお届けできるよう努めております。

一方、介護関連事業におきましては、慢性的な赤字体質より脱却するために、お客様にご満足いただける質の高い介護保険サービスを提供するとともに、将来を見据え有償サービスの導入に向けた検討を開始しております。さらに、職員の部外教育等を受講させ資質の向上を図り、お客様に選ばれる会社となるよう努めていく所存です。

当社グループの2020年9月期における業績予想としては、売上高34億1千3百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益8千5百万円（前年同期比31.4%減）、経常利益9千5百万円（前年同期比17.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5千7百万円（前年同期比1億2百万円の改善）を見込んでおります。

今後、当社は収益力の向上と経営基盤の安定化に努めるとともに、株主の皆様、投資家の皆様の視点に立ち、IRの改善にも取り組んでいき、東京証券取引所における上場を維持してまいりたいと考えております。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますが、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上